

(1) 地区の現況

◆公園の整備状況

対象公園	公園種別	公園数	面積 (㎡)
		地区公園	2
住区基幹	近隣公園	1	9,613.00
	街区公園	41	79,876.02
	緑道	3	11,541.66
	児童遊園	15	5,837.53
	遊び場	3	6,017.48
都市基幹	総合公園	0	-
	運動公園	0	-
合計		65	244,412.07
参照する公園	都立公園	2	176,127.59
	海上公園	0	-
	国営公園	0	-
	合計	2	176,127.59

一人当たりの公園面積 (㎡)		
対象公園のみ	住区	1.89
	住区+都市	1.89
参照公園含む		3.25

※地区人口：129,492人（住民基本台帳 R7.4.1）

【特徴的な公園】

- **水遊びのできる公園：**
 - ・ 堅川河川敷公園
 - ・ 城東公園
- **ボール遊びのできる公園：**
 - ・ 堅川河川敷公園
 - ・ 亀戸九丁目公園
- **芝生・原っぱ広場のある公園：**
 - ・ 大島四丁目公園
- **ドッグランのある公園：**
 - ・ 旧中川水辺公園
- **インクルーシブ遊具のある公園：**
 - ・ 大島九丁目すすく公園
- **ピオトープのある公園：**
 - ・ 堅川第一公園
 - ・ 釜屋堀公園
 - ・ 亀戸九丁目緑道公園

【水辺の公園】

- ・ 堅川河川敷公園、旧中川水辺公園、亀戸水上公園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5～7年の利用許可申請状況より

- ・ 堅川河川敷公園、旧中川水辺公園、堅川第一公園、亀戸公園、文泉公園、亀戸駅前公園、亀島小学校記念公園、亀戸四丁目ふれあい公園、亀戸五丁目公園、亀戸南公園、亀戸平岩公園、亀戸東公園、亀戸七丁目北公園、大島防災公園、大島四丁目公園、大島四丁目第二公園、大島五丁目公園、大島七丁目公園、旧三大小記念公園、亀戸緑道公園、大島緑道公園、かめうさぎ児童遊園、八千代児童遊園、大島三丁目児童遊園、子安児童遊園、大島八丁目21番 遊び場、

◆公園の管理・運営状況

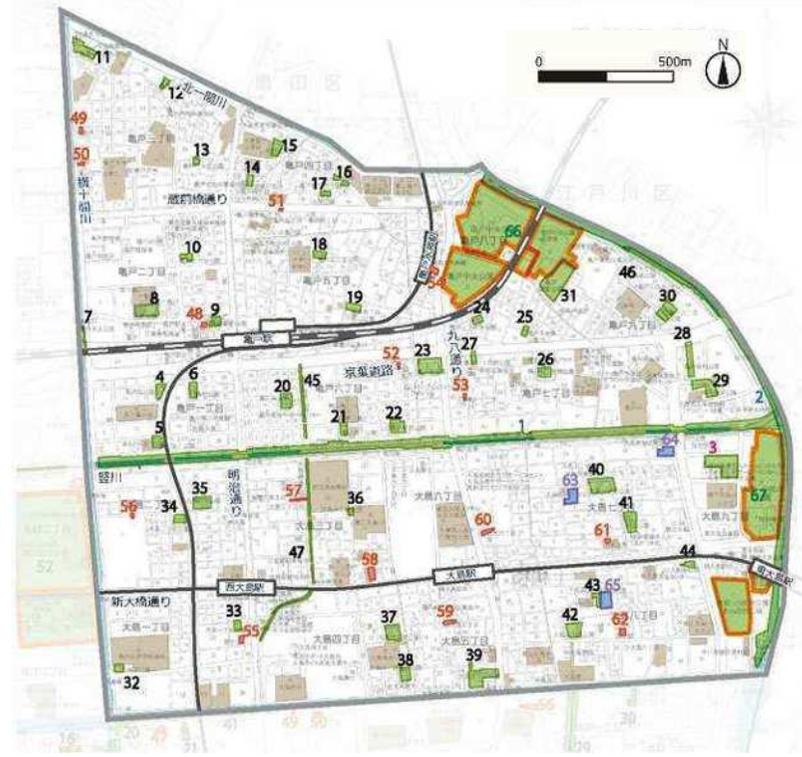
【公園ごとの意見・陳情数（トップ5）】

	R4 (342件)	R5 (434件)	R6 (406件)
1 堅川河川敷公園	43	堅川河川敷公園 45	堅川河川敷公園 44
2 大島緑道公園	36	大島緑道公園 33	大島緑道公園 23
3 旧中川水辺公園	21	大島五丁目公園 18	文泉公園 18
4 亀戸駅前公園	19	旧中川水辺公園 17	大島七丁目公園 16
5 大島防災公園	15	大島七丁目公園 15	旧中川水辺公園 15

- ・ 地区全体の意見・陳情等は年間300～400件程度と、全体の中でも多い傾向にある。
- ・ 内容は樹木に関することや公園施設に関する意見・陳情等が多い。
- ・ 公園別に見ると、意見・陳情等の多い堅川河川敷公園、大島緑道公園では、植栽の管理や騒音・タバコなどのマナーに関する意見が多くみられる。
- ・ 旧中川水辺公園では、バーベキューや花火、スケートボードの利用に関する意見が多い。

【民間活力の導入状況】

- ・ 堅川河川敷公園（指定管理）
- ・ 旧中川水辺公園、亀戸九丁目緑道公園（指定管理）
- ・ 亀戸中央公園、大島小松川公園（都立・指定管理）



NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	堅川河川敷公園	18	亀戸五丁目公園	35	大島防災公園	52	亀戸六丁目児童遊園
2	旧中川水辺公園	19	亀戸五丁目第二公園	36	大島三丁目公園	53	亀戸七丁目児童遊園
3	大島九丁目すすく公園	20	亀戸南公園	37	大島四丁目公園	54	八千代児童遊園
4	亀戸西公園	21	堅川第二公園	38	大島四丁目第二公園	55	黎明児童遊園
5	堅川第一公園	22	亀戸平岩公園	39	大島五丁目公園	56	大島二丁目児童遊園
6	亀戸公園	23	亀戸東公園	40	大島七丁目公園	57	大島三丁目西児童遊園
7	亀戸水上公園	24	亀戸七丁目北公園	41	旧三大小記念公園	58	大島三丁目児童遊園
8	文泉公園	25	亀戸平岩第二公園	42	大島八丁目公園	59	大島五丁目児童遊園
9	亀戸駅前公園	26	亀戸七丁目南公園	43	大島八丁目第二公園	60	大島六丁目第二児童遊園
10	亀戸二丁目公園	27	亀戸七丁目西公園	44	大島東公園	61	東大島児童遊園
11	亀島小学校記念公園	28	亀戸緑道公園	45	亀戸緑道公園	62	子安児童遊園
12	亀島公園	29	亀戸浅間公園	46	亀戸九丁目緑道公園	63	大島七丁目16番 遊び場
13	亀戸三丁目公園	30	亀戸九丁目公園	47	大島緑道公園	64	大島七丁目43番 遊び場
14	亀戸四丁目ふれあい公園	31	亀戸運動公園	48	かめうさぎ児童遊園	65	大島八丁目21番 遊び場
15	香取公園	32	釜屋堀公園	49	亀戸三丁目児童遊園	66	亀戸中央公園
16	亀戸四丁目公園	33	大島一丁目公園	50	亀戸二丁目第二児童遊園	67	大島小松川公園
17	水神公園	34	大島二丁目公園	51	亀戸四丁目児童遊園		

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年の間に約2割増加しており、人口は、2029年に約133,000人まで増加すると推計されている。
- 高齢化率は23.9%。(2019年時点)



◆まちへの満足度

- 観光・交流への満足度が高く、安全・安心の満足度が低い。(都市計画マスタープラン)

◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

住居系利用が全体の5割近くを占める。商業系は約15%であり、商業・工業系の土地利用が住居系と混在している。

●まちづくりの方針

良好な住環境を形成するため、既存の住居・商業・工業・公共などの多様な都市機能と身近な水辺と緑が共存する複合市街地の形成を目指す。(都市計画マスタープラン)

◆緑に関する動向

地区別テーマ：水辺のスポーツが身近に楽しめる魅力あるまち (緑の基本計画)

●地区の方針：

- 豊かな緑地やオープンスペースのある大規模な団地等も立地していることから、今後の建て替え等の際には、事業者等と連携し、地区の貴重なみどりの保全・創出に努める。(緑の基本計画)
- 豊かな水辺や公園等を活かしたみどりのネットワークを形成し、ウォーキングやランニング、水辺のスポーツ等の場として活用を図り、健康増進・交流等を創出。(緑の基本計画)
- 縦横に流れる河川や大規模な公園等を活用し、環境、生物多様性、防災等をはじめとするみどりの多様な機能が発揮できるみどりのネットワークを形成。(緑の基本計画)
- 横十間川、北十間川、旧中川、小名木川では、水彩軸の形成や散歩道の整備など、回遊性の高い水辺と緑のネットワークが望まれる。(都市計画マスタープラン)

(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

- 週に1回以上公園を利用している住民が56.1%と、他地区と比較して多い傾向にある。(全休44.8%)

- “トイレやベンチなどの施設の清潔さ”や“暑さ対策の充実度”について、他地区と比較して、不満に思っている住民が多い傾向にある。

- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して同程度の結果となった。



【トイレやベンチなどの施設の清潔さについての満足度】

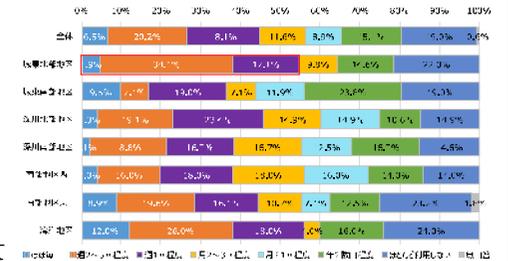
◆利用実態調査

●亀戸駅前公園：

亀戸駅前に立地しており、文化センターにも隣接。駅と北西側へ通り抜けも多く、利用者も多い。

●大島九丁目すくすく公園：

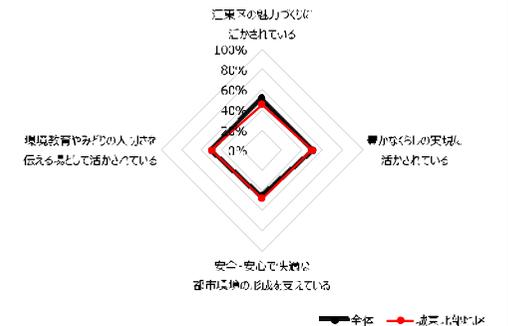
地域と作った公園であり、区立公園で唯一、インクルーシブ遊具が整備されている。老人福祉施設、小学校、都立公園隣接にも隣接しており、平日・休日ともに、終日多くの人々に利用されている。



【公園の利用頻度】



【暑さ対策の充実度（緑陰や日除け施設など）についての満足度】



【公園の効果に対する評価】

(4) 特徴と課題

◆特徴

- 2つの都立公園のほか、住区基幹の公園が多く整備されている。一人当たりの公園面積は3.2㎡。
- 親水公園が多く、水遊びのできる公園が複数整備されている。
- 週に1回以上公園を利用している住民が、他地区と比較して多い傾向にある。

◆課題

- 都立公園が多く立地していることから、これらの公園との連携を図りながら、区立公園の魅力を高めていく必要がある。
- 小規模な区立公園が多く整備されていることから、機能分担を図り、公園の個性を出していく必要がある。

2. 城東南部地区

地区別公園カルテ

(1) 地区の現況

◆公園の整備状況

		公園種別	公園数	面積 (m ²)
対象公園	住区基幹	地区公園	1	51,966.51
		近隣公園	1	38,645.82
		街区公園	34	64,299.71
		緑道	3	17,871.21
		児童遊園	24	9,467.74
	遊び場	2	319.83	
	都市基幹	総合公園	2	161,816.47
運動公園	1	10,054.18		
		合計	68	354,441.47
参照する公園	機能を	都立公園	0	-
		海上公園	0	-
		国営公園	0	-
		合計	0	0

一人当たりの公園面積 (m ²)		
対象公園のみ	住区	1.51
	住区+都市	2.92
参照公園含む		2.92

※地区人口：121,292人（住民基本台帳 R7.4.1）

【特徴的な公園】

- **水遊びのできる公園：**
 - ・横十間川親水公園
- **ボール遊びのできる公園：**
 - ・南砂三丁目公園
- **芝生・原っぱ広場のある公園：**
 - ・日曹橋公園
- **ビオトープのある公園：**
 - ・仙台堀川公園
 - ・荒川・砂町水辺公園
 - ・横十間川親水公園
 - ・新砂のぞみ公園
- **農体験のできる公園：**
 - ・横十間川親水公園
- **防災機能が強化されている公園：**
 - ・小名木川防災公園

【水辺の公園】

- ・仙台堀川公園、荒川・砂町水辺公園、横十間川親水公園、北砂水上公園、北砂緑道公園、松島橋児童遊園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5～7年の占用許可申請状況より

- ・城東公園、仙台堀川公園、荒川・砂町水辺公園、横十間川親水公園、南砂三丁目公園、南砂一丁目北公園、境川公園、金森公園、南砂四丁目西公園、北砂水上公園、北砂二丁目公園、砂町中央公園、北砂公園、小名木川防災公園、亀高公園、東砂一丁目公園、東砂二丁目公園、東砂三丁目第二公園、東砂六丁目公園、舟入川公園、東砂八丁目公園、南砂緑道公園、北砂ふれあい児童遊園



NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	城東公園	19	北砂一丁目公園	37	新砂あゆみ公園	55	北砂四丁目第三児童遊園
2	仙台堀川公園	20	北砂水上公園	38	新砂のぞみ公園	56	丸八児童遊園
3	荒川・砂町水辺公園	21	北砂第二公園	39	新砂めぐみ公園	57	北砂七丁目児童遊園
4	横十間川親水公園	22	北砂一丁目南公園	40	南砂緑道公園	58	北砂なかよし児童遊園
5	南砂三丁目公園	23	北砂二丁目公園	41	北砂緑道公園	59	北砂七丁目東児童遊園
6	南砂一丁目公園	24	砂町中央公園	42	南砂線路公園	60	北砂七丁目西児童遊園
7	南砂一丁目第二公園	25	北砂公園	43	南砂一丁目児童遊園	61	因達寺前児童遊園
8	南砂一丁目北公園	26	小名木川防災公園	44	松島橋児童遊園	62	東砂一丁目児童遊園
9	南砂二丁目公園	27	亀高公園	45	南砂三丁目児童遊園	63	東砂三丁目第二児童遊園
10	境川公園	28	北砂七丁目公園	46	北砂一丁目児童遊園	64	東砂五丁目児童遊園
11	金森公園	29	東砂一丁目公園	47	北砂一丁目第二児童遊園	65	東砂五丁目第二児童遊園
12	南砂二丁目南公園	30	東砂二丁目公園	48	北砂一丁目第三児童遊園	66	東砂七丁目児童遊園
13	日曹橋公園	31	東砂三丁目公園	49	北砂小名木川児童遊園	67	北砂四丁目30番 遊び場
14	南砂三丁目緑地公園	32	東砂三丁目第二公園	50	北砂三丁目児童遊園	68	北砂四丁目7番 遊び場
15	南砂四丁目西公園	33	東砂六丁目公園	51	北砂ふれあい児童遊園		
16	南砂四丁目公園	34	舟入川公園	52	北砂四丁目児童遊園		
17	砂町中央公園	35	砂町公園	53	亀高児童遊園		
18	南砂六丁目公園	36	東砂八丁目公園	54	北砂四丁目第二児童遊園		

◆公園の管理・運営状況

【公園ごとの意見・陳情数（トップ5）】

R4 (349件)		R5 (551件)		R6 (633件)	
1	仙台堀川公園 81	1	仙台堀川公園 127	1	仙台堀川公園 138
2	横十間川親水公園 55	2	横十間川親水公園 82	2	横十間川親水公園 70
3	南砂緑道公園 38	3	南砂緑道公園 53	3	南砂緑道公園 59
4	南砂三丁目公園 34	4	南砂三丁目公園 42	4	南砂三丁目公園 50
5	砂町中央公園 7	5	荒川砂町水辺公園 16	5	北砂二丁目公園 21

- ・地区全体の意見・陳情等は年間300～600件程度と、全体の中でも多く、年々増加傾向にある。
- ・内容は樹木に関することや公園施設に関する意見・陳情等が多い。
- ・公園別に見ると、意見・陳情等の多い仙台堀川公園では、植栽の管理や騒音・タバコ・駐輪などのマナーに関する意見が多くみられる。
- ・横十間川親水公園では、ボートに関する意見や野鳥などの動物などに関する意見が多い。

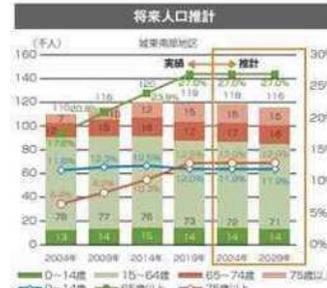
【民間活力の導入状況】

- ・仙台堀川公園（一部）（指定管理）

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年の間に約15%増加しているが、人口は、2029年に約116,000人と横ばい〜やや減少が推計されている。
- 高齢化率は27.0%。(2019年時点)



◆まちへの満足度

- 住環境への満足度が高く、安全・安心の満足度が低い。(都市計画マスタープラン)

◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

住居系利用が全体の5割以上を占める。商業系は約14%であり、商業・工業系の土地利用が住居系と混在している。

●まちづくりの方針

良好な住環境を形成するため、既存の住居・商業・工業・公共などの多様な都市機能と身近な水辺と緑が共存する複合市街地の形成を目指す。(都市計画マスタープラン)

◆緑に関する動向

地区別テーマ：くらしにみどりが溶け込む触れ合いと活気のあるまち (緑の基本計画)

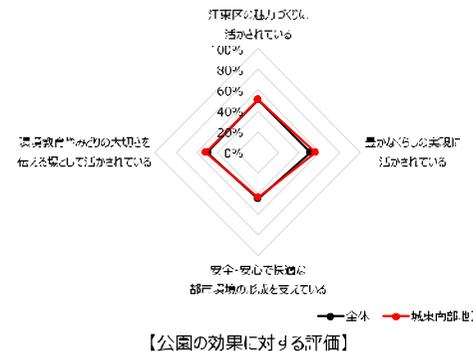
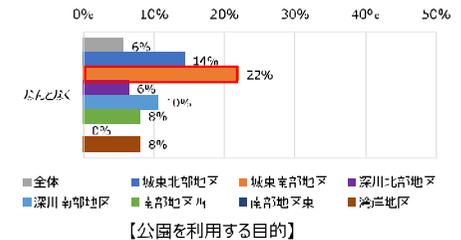
●地区の方針：

- マンション等の住居系用途への土地利用転換や豊かな緑地等を有する大規模団地等の建て替え等の際には、現在の緑地機能の維持や充実を図るため、事業者等と連携し、地区の貴重なみどりの保全・創出に努める。(緑の基本計画)
- 荒川・砂町水辺公園や仙台堀川公園等の身近な自然と触れ合えるみどりを活用し、スポーツ、レクリエーション、環境教育の場としての環境づくりを進める。(緑の基本計画)
- 木造住宅密集地域等では、公園や広場の新設や既存の公園の拡幅等と合わせて、建物の建て替えの際にオープンスペースの確保を進めることで、防災性を高める空地を確保。(緑の基本計画)

(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

- 公園を利用する目的として、「なんとなく」が他地区と比較して多い傾向にある。
- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して同程度の結果となった。



◆利用実態調査

- 城東公園：**交通公園が整備されており、午後・放課後にかけて自転車利用の未就学や低学年の親子で賑わう。
- 南砂三丁目公園：**南砂町駅近くに立地しており、商業施設も隣接する。遊具やスポーツでの利用や通行利用が多く、南砂町駅に近い遊具のエリアと、公園中央にある大きい子ども向け遊具、北部にあるスポーツ広場の利用者が多い。

(4) 特徴と課題

◆特徴

- 総合公園や運動公園など大規模な区立公園が整備されており、区立公園の合計面積としては、区内で最も大きい。一人当たりの公園面積は2.9㎡。
- 高齢化率が他地区と比較して高く、将来人口は横ばい〜やや減少が推計されている。

◆課題

- 総合公園や運動公園など大規模な区立公園が多く立地していることから、機能の多機能化を図る必要がある。
- 将来の人口構成を考慮した公園づくりを行う必要がある。

(1) 地区の現況

◆公園の整備状況

		公園種別	公園数	面積 (㎡)
対象公園	住区基幹	地区公園	0	-
		近隣公園	0	-
		街区公園	26	58,139.44
		緑道	0	-
		児童遊園	23	8,550.82
	遊び場	0	-	
	都市基幹	総合公園	0	-
運動公園	0	-		
		合計	49	66,690.26
参照する公園	機能を	都立公園	3	464,890.83
		海上公園	0	-
		国営公園	0	-
		合計	3	464,890.83

一人当たりの公園面積 (㎡)		
対象公園のみ	住区	0.76
	住区+都市	0.76
参照公園含む		6.05

※地区人口：87,895人（住民基本台帳 R7.4.1）

【特徴的な公園】

- 水遊びのできる公園：
 - ・福富川公園
- ドッグランのある公園：
 - ・木場公園（都立）
- バーベキュー場のある公園：
 - ・木場公園（都立）
- ピオトープのある公園：
 - ・福富川公園
 - ・三島橋公園
- 歴史・文化を伝える公園：
 - ・八名川公園
 - ・森下公園
 - ・元加賀公園
 - ・扇橋公園
 - ・川南公園

【水辺の公園】

- ・白河三丁目水辺公園、扇橋一丁目公園、三島橋公園、扇橋河川公園、万年橋児童遊園、東深川橋児童遊園、森下五丁目児童遊園、白河児童遊園、猿江橋児童遊園、清水橋児童遊園、猿江恩賜公園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5～7年の占用許可申請状況より

- ・清澄二丁目公園、八名川公園、森下公園、高森公園、福富川公園、平野四丁目公園、白河三丁目水辺公園、元加賀公園、扇橋公園、川南海辺公園、扇橋一丁目公園、江東公園、三島橋公園、扇橋河川公園、猿江一丁目公園、猿江二丁目公園、住吉一丁目公園、住利公園、川南公園、千石二丁目公園、清澄児童遊園、常盤二丁目児童遊園、森下三丁目第三児童遊園、森下五丁目児童遊園、平野二丁目児童遊園、三好三丁目児童遊園、猿江橋児童遊園、扇橋一丁目児童遊園

◆公園の管理・運営状況

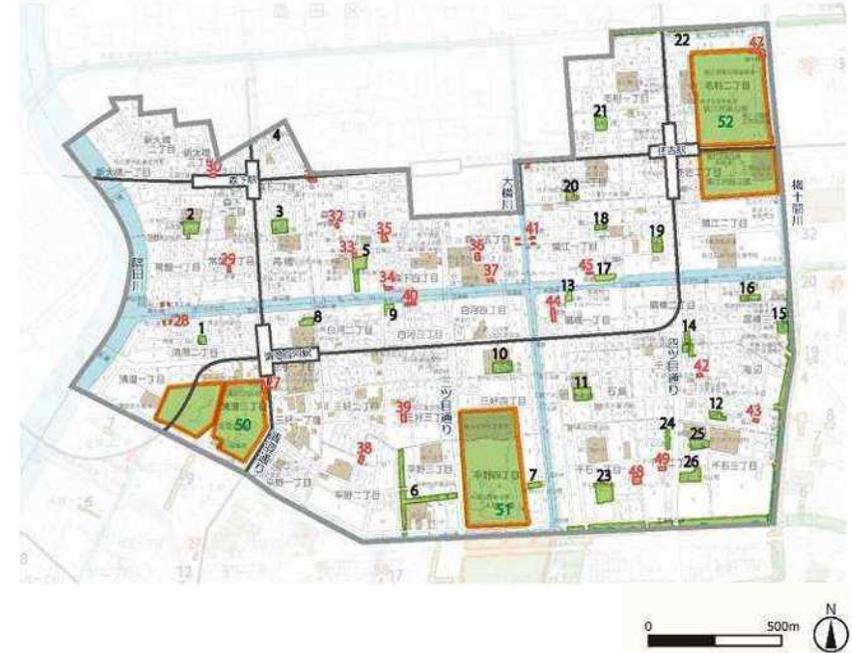
【公園ごとの意見・陳情数（トップ5）】

R4 (18件)		R5 (24件)		R6 (228件)	
1	扇橋一丁目児童遊園	2	高森公園	3	八名川公園
2	八名川公園	2	八名川公園	3	高森公園
3	平野二丁目児童遊園	2	福富川公園	3	福富川公園
4	猿江橋児童遊園	1	森下公園	2	猿江一丁目公園
5	猿江二丁目公園	1	千石公園	2	千石二丁目公園

- ・ 地区全体の意見・陳情等は令和4・5年は50件以下であったが、令和6年度は200件超と、増加している。
- ・ 内容は樹木に関することや公園施設に関する意見・陳情等が多い。
- ・ 公園別に見ると、意見・陳情等が比較的多い八名川公園や高森公園では公園利用に関するマナーについての意見が多く、特にボール利用に関する内容が多い。

【民間活力の導入状況】

- ・ 清澄庭園、木場公園、猿江恩賜公園（都立・指定管理）



NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	清澄二丁目公園	19	猿江二丁目公園	37	森下五丁目児童遊園
2	八名川公園	20	住吉一丁目公園	38	平野二丁目児童遊園
3	森下公園	21	住利公園	39	三好三丁目児童遊園
4	五間堀公園	22	壱川親水公園	40	白河児童遊園
5	高森公園	23	千石運動公園	41	猿江橋児童遊園
6	福富川公園	24	千石公園	42	千田児童遊園
7	平野四丁目公園	25	川南公園	43	海辺児童遊園
8	白河一丁目公園	26	千石二丁目公園	44	扇橋一丁目児童遊園
9	白河三丁目水辺公園	27	清澄児童遊園	45	小松橋際児童遊園
10	元加賀公園	28	万年橋児童遊園	46	住吉一丁目児童遊園
11	扇橋公園	29	常盤二丁目児童遊園	47	清水橋児童遊園
12	川南海辺公園	30	新大橋三丁目児童遊園	48	千石児童遊園
13	扇橋一丁目公園	31	森下三丁目第一児童遊園	49	千石二丁目児童遊園
14	江東公園	32	森下三丁目第二児童遊園	50	清澄庭園
15	三島橋公園	33	森下三丁目第三児童遊園	51	木場公園
16	扇橋三丁目公園	34	東深川橋児童遊園	52	猿江恩賜公園
17	扇橋河川公園	35	森下四丁目児童遊園		
18	猿江一丁目公園	36	森下五丁目第二児童遊園		

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年の間に約3割増加しており、人口は、2029年に約96,000人まで増加すると推計されている。
- 高齢化率は20.5%。(2019年時点)



◆まちへの満足度

- 住環境への満足度が高く、安全・安心の満足度が低い。(都市計画マスタープラン)

◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

住居系利用が全体の4割を占め、東京都現代美術館を中心とするエリアでは、木材倉庫を活用したリノベーション物件やカフェ店舗数の立地が増加。

●まちづくりの方針

都市生活における多様なニーズに対応するため、住居・商業・工業・公共などの都市機能を誘導し、複合的な住環境の形成を目指す。(都市計画マスタープラン)

●地下鉄8号線沿線まちづくり

地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、東陽町駅～住吉駅の間に、(仮称)千石駅の整備が予定されているほか、(仮称)千石駅、住吉駅周辺をはじめとする、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。

◆緑に関する動向

地区別テーマ：下町風情が残るみどりと新たな芸術・文化が息づくまち (緑の基本計画)

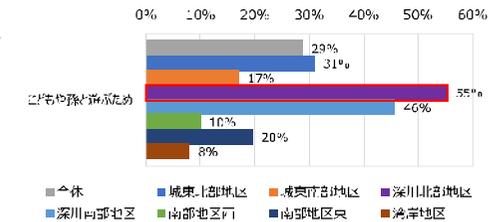
●地区の方針：

- 公園、水辺、社寺等の既存のみどりを保全するとともに、民有地における緑化を推進。(緑の基本計画)
- 歴史・文化的資源を活用し、みどりと一体となった市街地の緑化や景観形成を進め、地区への愛着の醸成やにぎわい等を創出。(緑の基本計画)
- 縦横に流れる河川や大規模な公園等を活用し、環境、生物多様性、防災等をはじめとするみどりの多様な機能が発揮できるみどりのネットワークを形成。(緑の基本計画)

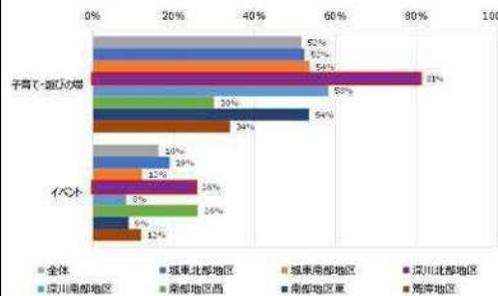
(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

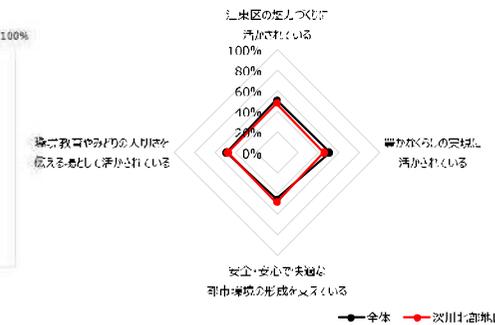
- 公園を利用する目的として、「子どもや孫と遊ぶため」が他地区と比較して多い傾向にある。
- また、身近な区立公園に求める役割として、「子育て・遊びの場」や「イベント」を求める住民が他地区と比較して多い傾向にある。
- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して同程度の結果となった。



【公園を利用する目的】



【身近な公園に求める役割】



【公園の効果に対する評価】

◆利用実態調査

●高森公園：

文化センターに隣接しており、子どもアンケートでは利用している子どもの多い公園としてあげられていた。時間帯によって利用の傾向が異なり、午前幼児や高齢者の利用、午後や夕方は小・中学生の利用が多くみられたほか、通行利用も多い。

(4) 特徴と課題

◆特徴

- 3つの都立公園が立地しているが、区立公園は小規模の公園が多く、区立公園の合計面積としては、区内で最も小さい。一人当たりの公園面積は60.㎡。
- 親水公園が多く、水遊びのできる公園が複数整備されている。
- 地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。
- 身近な区立公園に求める役割として、「子育て・遊びの場」や「イベント」を求める住民が他地区と比較して多い傾向にある。

◆課題

- 区民から日常的に利用されている都立公園が立地しており、これらの公園との連携を図りながら、区立公園の魅力を高めていく必要がある。
- 区立公園は小規模なものが多く、限られた面積での多機能化は難しいため、機能分担を図る必要がある。
- 地下鉄8号線の延伸など、今後のまちづくりを考慮した公園づくりを行う必要がある。

(1) 地区の現況

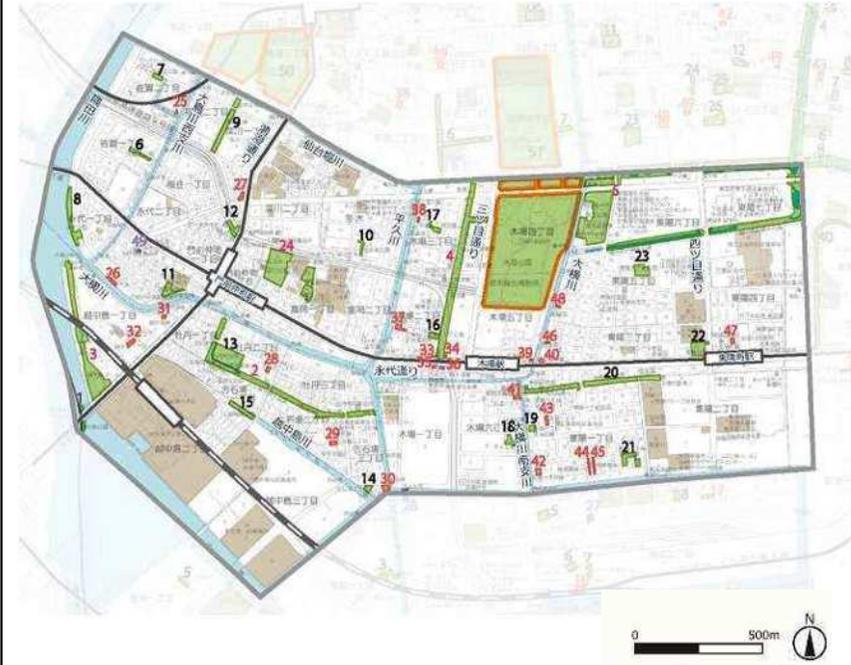
◆公園の整備状況

	公園種別	公園数	面積 (㎡)	一人当たりの公園面積 (㎡)	
				住区	住区+都市
対象公園	地区公園	0	-	1.72	1.72
	近隣公園	5	87,742.22		
	街区公園	18	41,146.78	1.75	
	緑道	0	-		
	児童遊園	24	6,067.03		
	都市基幹	遊び場	1	98.40	※地区人口：78,345人 (住民基本台帳 R7.4.1)
		総合公園	0	-	
運動公園		0	-		
特殊公園		1	2,118.28		
合計		49	137,172.71		
参照する公園	都立公園	0	-	機能	
	海上公園	0	-		
	国営公園	0	-		
	合計	0	-		

一人当たりの公園面積 (㎡)		
対象公園のみ	住区	1.72
	住区+都市	1.72
参照公園含む		1.75

【特徴的な公園】

- **水遊びのできる公園：**
 - 古石場川親水公園
 - 越中島公園
 - 木場親水公園
- **ボール遊びのできる公園：**
 - 豊住公園
- **芝生・原っぱ広場のある公園：**
 - 東陽五丁目公園
- **ピクトープのある公園：**
 - 東陽一丁目第一公園
- **歴史・文化を伝える公園：**
 - 臨海公園
 - 東陽公園
 - 深川公園



【水辺の公園】

- 中の島公園、古石場川親水公園、越中島公園、木場親水公園、永代公園、東陽一丁目第一公園、洲崎川緑道公園、中の堀川児童遊園、大島川児童遊園、木場二丁目児童遊園、鉄道堀児童遊園、沢海橋第一児童遊園、沢海橋第二児童遊園、木場六丁目児童遊園、東陽一丁目南児童遊園、東陽児童遊園、東陽西児童遊園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5~7年の占用許可申請状況より

- 古石場川親水公園、越中島公園、木場親水公園、豊住公園、永代公園、油堀川公園、牡丹町公園、古石場三丁目公園、木場二丁目公園、木場三丁目公園、平久公園、東陽公園、東陽五丁目公園、深川公園、木場二丁目児童遊園、沢海橋第一児童遊園、木場六丁目児童遊園、東陽西児童遊園

◆公園の管理・運営状況

【公園ごとの意見・陳情数 (トップ5)】

	R4 (23件)		R5 (41件)		R6 (305件)	
1	古石場川親水公園	4	古石場川親水公園	4	深川公園	39
2	豊住公園	4	古石場親水公園	3	古石場川親水公園	36
3	油堀川公園	2	洲崎川緑道公園	3	木場親水公園	24
4	永代公園	1	深川公園	3	牡丹町公園	21
5	越中島橋児童遊園	1	調練橋公園	3	越中島公園	19

- ・ 地区全体の意見・陳情等は令和4・5年は50件以下であったが、令和6年度は300件超と、増加している。
- ・ 内容は公園施設に関する意見・陳情等が多い。
- ・ 公園別に見ると、意見・陳情等が比較的多い古石場川親水公園では、公園施設の老朽化に関する意見が多く、深川公園では、公園施設の不具合やボール等の公園利用のマナーに関する内容が多い。

【民間活力の導入状況】

- ・ なし

NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	中の島公園	19	東陽一丁目第一公園	37	木場二丁目児童遊園
2	古石場川親水公園	20	洲崎川緑道公園	38	鉄道堀児童遊園
3	越中島公園	21	東陽一丁目第二公園	39	沢海橋第一児童遊園
4	木場親水公園	22	東陽公園	40	沢海橋第二児童遊園
5	豊住公園	23	東陽五丁目公園	41	木場六丁目児童遊園
6	佐賀町公園	24	深川公園	42	東陽一丁目南児童遊園
7	中の堀公園	25	中の堀川児童遊園	43	東陽一丁目児童遊園
8	永代公園	26	大島川児童遊園	44	南開橋第一児童遊園
9	亀堀公園	27	深川一丁目児童遊園	45	南開橋第二児童遊園
10	武田堀公園	28	牡丹二丁目児童遊園	46	東陽児童遊園
11	臨海公園	29	古石場二丁目児童遊園	47	東陽四丁目児童遊園
12	油堀川公園	30	石浜橋児童遊園	48	東陽西児童遊園
13	牡丹町公園	31	越中島橋児童遊園	49	永代二丁目9番 遊び場
14	古石場三丁目公園	32	越中島一丁目児童遊園		
15	調練橋公園	33	舟木橋第一児童遊園		
16	木場二丁目公園	34	舟木橋第二児童遊園		
17	木場三丁目公園	35	舟木橋第三児童遊園		
18	平久公園	36	舟木橋第四児童遊園		

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年の間に2割以上増加しており、人口は、2029年に約83,000人まで増加すると推計されている。
- 高齢化率は21.5%。(2019年時点)



◆まちへの満足度

- 観光・交流への満足度が高く、安全・安心の満足度が低い。(都市計画マスタープラン)

◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

住居系利用が全体の3.5割を占めている。震災復興の土地区画整理により、道路などの都市基盤が整備されており、東陽町では、業務・官公庁学校と大規模な集合住宅が共存。

●まちづくりの方針

都市生活における多様なニーズに対応するため、住居・商業・工業・公共などの都市機能を誘導し、複合的な住環境の形成を目指す。(都市計画マスタープラン)

●地下鉄8号線沿線まちづくり

地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、東陽町駅～住吉駅の間に、(仮称)千石駅の整備が予定されているほか、東陽町駅、(仮称)千石駅周辺をはじめとする、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。

◆緑に関する動向

地区別テーマ：みどりをみんなで生み出し・育み・活かす伝統と未来が織り成すみどり豊かなまち (緑の基本計画)

●地区の方針：

- 富岡八幡宮、深川不動堂等の歴史・文化的資源を活用し、みどりと一体となった市街地の緑化や景観を形成。(緑の基本計画)
- 縦横に流れる河川、親水公園、富岡八幡宮等の社寺等のみどりを保全・維持していくとともに、小学校、区民、事業者と連携することで、環境、生物多様性等をはじめとするみどりポケットエコスペースや事業者のビotope等を活用した多様な機能が発揮できるみどりのネットワークを形成。(緑の基本計画)

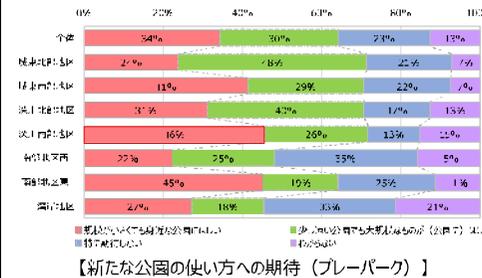
(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

- “草や樹木の管理状況”について、他地区と比較して、満足度が高く、不満に思っている住民が少ない傾向にある。

- 期待する新たな公園の使い方について、身近な公園へのプレーパークやボール遊び(ハード・ソフト両面)に関する期待が、他地区と比較して高い傾向にある。

- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して同程度の結果となった。

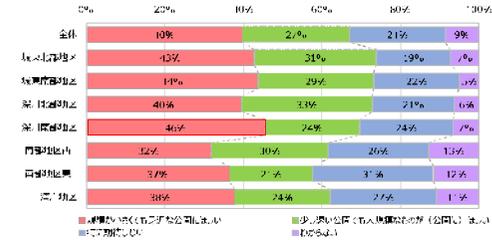


◆利用実態調査

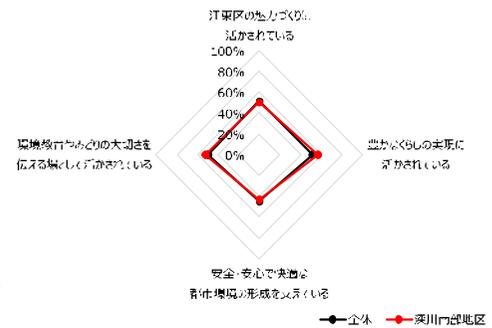
- 深川公園：深川不動尊や商店街に隣接しており、公園に来たついでに立ち寄る人や、商店街に来たついでに公園に立ち寄る人も見られた。平日休日問わず親子連れの利用が多いが、特に休日は様々な利用者でにぎわう。ベンチの利用は時間帯問わず多い。



【草や樹木の管理状況についての満足度】



【新たな公園の使い方への期待(ボール遊びのルール・仕組みづくり)】



【公園の効果に対する評価】

(4) 特徴と課題

◆特徴

- 5つの近隣公園が整備されているが、大規模な公園が整備されておらず、一人当たりの公園面積は1.8㎡と区内で最も小さい。
- 水遊びのできる公園が複数整備されている。
- 地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。
- 身近な公園にボール遊びのできる環境を求める住民が、他地区と比較して多い傾向にある。

◆課題

- 大規模な公園がないが、近隣公園が多く整備されていることから、機能の多機能化を図りつつ、小規模な公園では機能分担を図り、住民ニーズに応じていく必要がある。
- 地下鉄8号線の延伸など、今後のまちづくりを考慮した公園づくりを行う必要がある。

(1) 地区の現況

◆公園の整備状況

		公園種別	公園数	面積 (㎡)
対象公園	住区基幹	地区公園	0	-
		近隣公園	2	40,493.13
		街区公園	9	29,534.14
		緑道	1	1,504.82
		児童遊園	2	1,264.64
		遊び場	2	1,384.8
	都市基幹	総合公園	1	152,998.41
運動公園	0	-		
		合計	17	227,179.94
参照する公園	機能を	都立公園	1	65,197.12
		海上公園	10	722,666.06
		国営公園	1	65,197.12
		合計	12	853,060.30

一人当たりの公園面積 (㎡)		
対象公園のみ	住区	0.92
	住区+都市	2.83
参照公園含む		13.43

※地区人口：80,376人（住民基本台帳 R7.4.1）

【特徴的な公園】

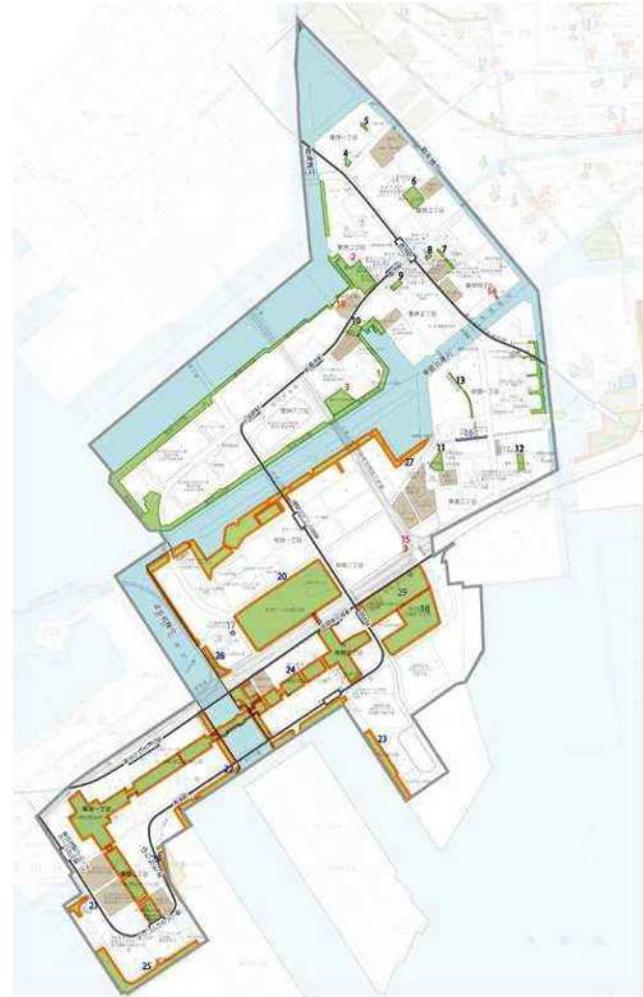
- **水遊びのできる公園：**
 - ・ 春海橋公園
 - ・ シンボルpromナード公園
 - ・ 青海南ふ頭公園（海上）
- **ドッグランのある公園：**
 - ・ 豊洲ぐるり公園
- **バーベキュー場のある公園：**
 - ・ 豊洲ぐるり公園
 - ・ 東京臨海広域防災公園（海上）
- **釣りができる公園：**
 - ・ 豊洲ぐるり公園
 - ・ 水の広場公園（海上）
 - ・ 有明西ふ頭公園（海上）

【水辺の公園】

- ・ 豊洲ぐるり公園、豊洲公園、豊洲六丁目公園、豊洲六丁目第二公園、豊洲四丁目児童遊園、春海橋公園、青海北ふ頭公園、水の広場公園、有明西ふ頭公園、シンボルpromナード公園、青海南ふ頭公園、有明北緑道公園、有明親水海浜公園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5～7年の利用許可申請状況より

- ・ 豊洲ぐるり公園、豊洲公園、豊洲六丁目公園、豊洲三丁目公園、豊洲六丁目第二公園、東雲公園



◆公園の管理・運営状況

【公園ごとの意見・陳情数（トップ5）】

R4 (95件)		R5 (177件)		R6 (121件)	
1	豊洲三丁目公園 26	豊洲三丁目公園 57	豊洲ぐるり公園 29		
2	豊洲ぐるり公園 14	豊洲ぐるり公園 30	豊洲三丁目公園 20		
3	東雲公園 10	豊洲四丁目公園 13	豊洲四丁目公園 12		
4	豊洲六丁目公園 8	東雲公園 10	豊洲五丁目公園 9		
5	豊洲一丁目第二公園 6	豊洲五丁目公園 10	東雲公園 7		

- ・ 地区全体の意見・陳情等は年間100～200件程度となっている。
- ・ 内容は利用マナーや公園施設に関する意見・陳情等が多い。
- ・ 公園別にみると、意見・陳情等が比較的多い豊洲三丁目公園では、喫煙等の公園利用のマナーに関する内容が多く、豊洲ぐるり公園では、公園利用のマナーに関する内容やドッグランに関する意見が多い。

【民間活力の導入状況】

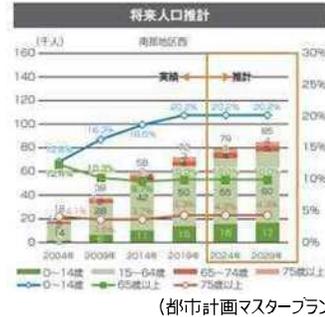
- ・ 豊洲ぐるり公園、豊洲公園、豊洲六丁目公園、豊洲六丁目第二公園（指定管理）
- ・ 春海橋公園、有明親水海浜公園、青海北ふ頭公園、青海中央ふ頭公園、青海南ふ頭公園、青海緑道公園、暁ふ頭公園、有明北緑道公園、有明西ふ頭公園、シンボルpromナード公園、水の広場公園、有明テニスの森公園、東京臨海広域防災公園（都立/国営/海上・指定管理）

NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	豊洲ぐるり公園	11	東雲公園	21	青海北ふ頭公園
2	豊洲公園	12	東雲二丁目公園	22	水の広場公園
3	豊洲六丁目公園	13	東雲緑道公園	23	有明西ふ頭公園
4	豊洲一丁目第二公園	14	豊洲四丁目児童遊園	24	シンボルpromナード公園
5	豊洲一丁目公園	15	有明二丁目児童遊園	25	青海南ふ頭公園
6	豊洲三丁目公園	16	有明二丁目3番5号 遊び場	26	有明北緑道公園
7	豊洲四丁目公園	17	東雲一丁目8番 遊び場	27	有明親水海浜公園
8	豊洲四丁目第二公園	18	東京臨海広域防災公園	28	青海緑道公園
9	豊洲五丁目公園	19	春海橋公園	29	東京臨海広域防災公園
10	豊洲六丁目第二公園	20	有明テニスの森公園		

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年の間に約5.5倍に増加し、人口は、2029年に約85,000人まで増加すると推計されている。
- 高齢化率は10.0%。(2019年時点)



◆まちへの満足度

- 住環境への満足度が高く、安全・安心の満足度が低い。(都市計画マスタープラン)

◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

住居系利用が全体の11.1%、商業系が20.2%、公共系が16.9%となっている。引き続き大規模な土地利用転換にあわせて、住居、商業、業務、公共などの都市機能の導入が求められている。

●まちづくりの方針

生活利便性の高い住環境を形成するため、引き続き大規模な土地利用転換に合わせて、段階的に住居、商業、業務、公共などの都市機能の誘導を図る。(都市計画マスタープラン)

●地下鉄8号線沿線まちづくり

地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、豊洲駅周辺をはじめとする、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。

◆緑に関する動向

地区別テーマ：みどりをみんなで生み出し・育み・活かす快適でにぎわいのあるまち(緑の基本計画)

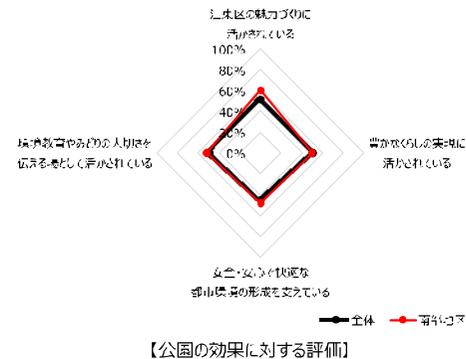
●地区の方針：

- 豊かな水辺を活かした新たなみどりを創出していくとともに、マンション等が多く立地していることから、ベランダ緑化等を推進し、地区のみどりに対する愛着の醸成を図る。(緑の基本計画)
- 土地利用転換や再開発等により整備された公園、道路、民有地のみどりについては、事業者等と連携し、適切な維持管理を行う。(緑の基本計画)
- 公園、水辺、東京 2020 大会会場等を有効活用するとともに、民間活力を導入することで、みどりを活用したスポーツ・レクリエーション空間や連続したみどりのネットワーク等を形成し、交流やにぎわいを創出。(緑の基本計画)

(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

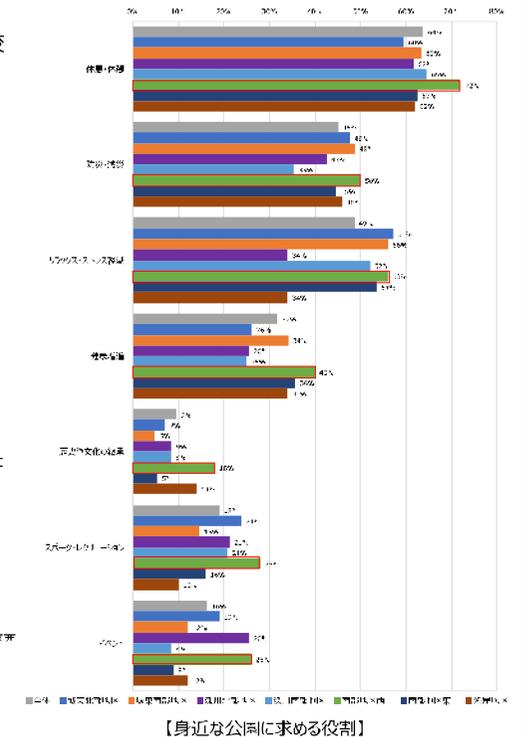
- 身近な区立公園に求める役割として、他地区と比較して多様な役割を求める住民が多い傾向にある。
- 一方、“子育て・遊びの場”を求める住民は、他地区と比較して少ない傾向にある。
- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して全体的に同程度～高い傾向にあり、“江東区の魅力づくりに活かされている”については、特に高い傾向にある。



◆利用実態調査

●豊洲ぐるり公園：

ドッグランや水辺は平日・休日問わず、終日多くの利用者が確認された。水辺は釣り・ランニング・休憩など利用のされ方も多岐に渡っている。遊具広場は平日の利用は少ないが、休日は多くの親子でにぎわっていた。立地の特性上、自転車や自動車での利用が多く、駐車場、駐輪場の不足を指摘する声も多く聞かれた。区外からの利用者や外国人の利用も多くみられた。



(4) 特徴と課題

◆特徴

- 都立公園や海上公園、国営公園が多く立地している。一人当たりの公園面積は13.4㎡。
- 釣りや、バーベキュー、ドッグランなど休日のレクリエーションを楽しめる公園が多い。
- 地下鉄8号線(の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。
- 他地区と比較して身近な区立公園に多様な役割を求める住民が多い傾向にある。

◆課題

- 都立公園や海上公園、国営公園が多く立地しており、これらの公園との連携を図りながら、区立公園の魅力を高めていく必要がある。
- 地下鉄8号線の延伸など、今後のまちづくりを考慮した公園づくりを行う必要がある。
- 区外からの利用者や外国人観光客の多い地区であることから、区の魅力を発信する場として活用していくことも求められる。

(1) 地区の現況

◆公園の整備状況

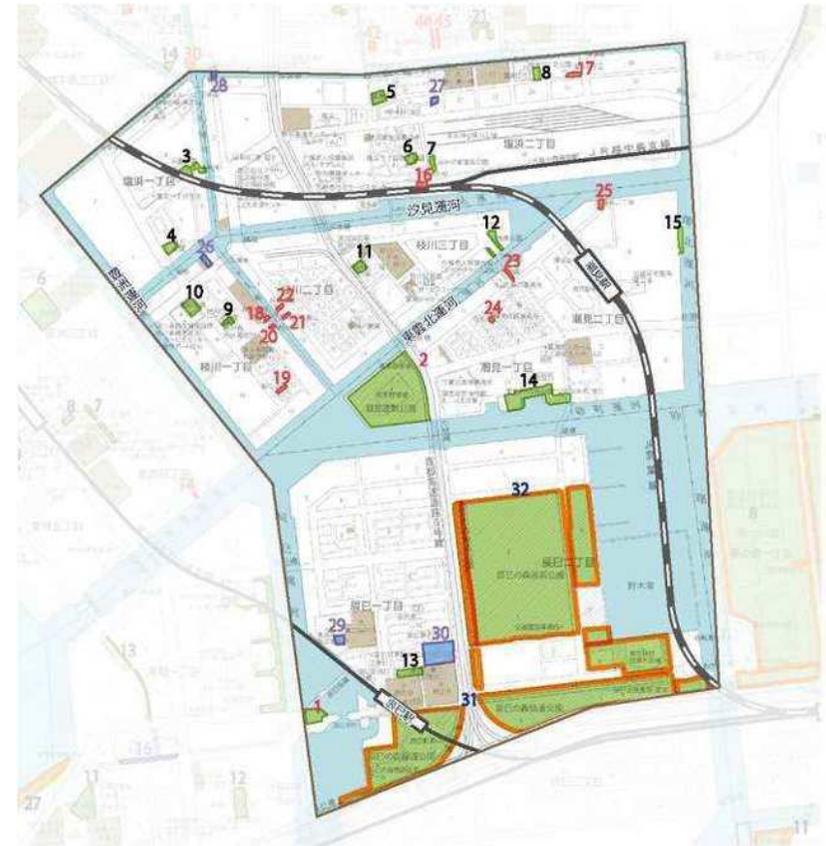
対象公園	公園種別	公園数	面積 (㎡)
		地区公園	0
住区基幹	近隣公園	2	56,366.24
	街区公園	13	23,379.14
	緑道	0	-
	児童遊園	10	3,463.75
	遊び場	5	13,834.11
	合計	30	97,043.24
参照する公園 機能を	総合公園	0	-
	運動公園	0	-
	合計	2	352,354.49
	都立公園	0	-
機能	海上公園	2	352,354.49
	国営公園	0	-
	合計	2	352,354.49

一人当たりの公園面積 (㎡)		
対象公園のみ	住区	2.18
	住区+都市	2.18
参照公園含む		10.12

※地区人口：44,417人（住民基本台帳 R7.4.1）

【特徴的な公園】

- **ボール遊びのできる公園：**
 - ・潮見運動公園
- **ピクトプのある公園：**
 - ・潮見さざなみ公園
- **ドッグランのある公園：**
 - ・辰巳の森緑道公園（都立）
- **バーベキュー場のある公園：**
 - ・辰巳の森緑道公園（都立）
- **防災機能が強化されている公園：**
 - ・潮見運動公園



【水辺の公園】

- ・東雲水辺公園、潮見運動公園、浜園公園、暁橋公園、潮見さざなみ公園、潮見しづさわ公園、枝川橋第四児童遊園、枝川橋児童遊園、枝川橋第二児童遊園、枝川橋第三児童遊園、暁橋児童遊園、辰巳の森緑道公園、辰巳の森海浜公園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5～7年の利用許可申請状況より

- ・東雲水辺公園、潮見運動公園、塩浜一丁目公園、朝凧公園、枝川三丁目公園、潮見さざなみ公園、塩浜二丁目児童遊園、辰巳一丁目1番 遊び場

◆公園の管理・運営状況

【公園ごとの意見・陳情数（トップ5）】

R4 (93件)		R5 (139件)		R6 (105件)	
1 東雲水辺公園	25	東雲水辺公園	44	東雲水辺公園	29
2 枝川三丁目公園	9	潮見運動公園	19	潮見運動公園	9
3 塩浜二丁目公園	8	潮見さざなみ公園	15	潮見さざなみ公園	8
4 潮見さざなみ公園	7	枝川三丁目公園	9	塩浜二丁目第二公園	7
5 浜園公園	7	枝川一丁目公園	5	枝川一丁目公園	7

- ・地区全体の意見・陳情等は年間100件前後となっている。
- ・内容は利用マナーに関することや樹木に関する意見・陳情等が多い。
- ・公園別に見ると、意見・陳情等が比較的多い東雲水辺公園では、ボールやスケートボード等の公園利用のマナーに関する内容や、釣りに関する要望などが多く、潮見運動公園では、公園施設の破損や樹木の管理等に関する要望が多い。

【民間活力の導入状況】

- ・辰巳の森海浜公園、辰巳の森緑道公園（海上公園・指定管理）

NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	東雲水辺公園	12	暁橋公園	23	暁橋児童遊園
2	潮見運動公園	13	辰巳公園	24	潮見児童遊園
3	浜園公園	14	潮見さざなみ公園	25	潮見二丁目児童遊園
4	塩浜一丁目公園	15	潮見しづさわ公園	26	枝川一丁目2番 遊び場
5	塩浜公園	16	しおかぜ児童遊園	27	塩浜二丁目11番 遊び場
6	塩浜二丁目第二公園	17	塩浜二丁目児童遊園	28	塩浜二丁目3番 遊び場
7	しおかぜ橋塩浜公園	18	枝川橋第四児童遊園	29	辰巳一丁目1番 遊び場
8	塩浜二丁目公園	19	朝日児童遊園	30	辰巳一丁目10番 遊び場 (少年野球場)
9	枝川一丁目公園	20	枝川橋児童遊園	31	辰巳の森緑道公園
10	朝凧公園	21	枝川橋第二児童遊園	32	辰巳の森海浜公園
11	枝川三丁目公園	22	枝川橋第三児童遊園		

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年の間に約2倍に増加しており、人口は、2029年に約55,000人まで増加すると推計されている。
- 高齢化率は21.5%。(2019年時点)



◆まちへの満足度

- 観光・交流への満足度が高く、安全・安心の満足度が低い。(都市計画マスタープラン)

◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

住居系利用が増加し全体の30.5を占めている。土地利用転換・更新に際しては、住居系機能と工業系機能の配置などから適正な誘導を図る必要がある。

●まちづくりの方針

住・工が共存した住環境を形成するため、大規模な土地利用転換・更新に際しては、住居系機能・工業系機能の配置などから適正な誘導を図る。(都市計画マスタープラン)

●地下鉄8号線沿線まちづくり

地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、豊洲駅～東陽町駅の間に、(仮称)枝川駅の整備が予定されているほか、(仮称)枝川駅周辺をはじめとする、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。

◆緑に関する動向

地区別テーマ：みどりをみんなで生み出し・育み・活かす快適でにぎわいのあるまち(緑の基本計画)

●地区の方針：

- 豊かな水辺を活かした新たなみどりを創出していくとともに、マンション等が多く立地していることから、ベランダ緑化等を推進し、地区のみどりに対する愛着の醸成を図る。(緑の基本計画)
- 土地利用転換や再開発等により整備された公園、道路、民有地のみどりについては、事業者等と連携し、適切な維持管理を行う。(緑の基本計画)
- 公園、水辺、東京2020大会会場等を有効活用するとともに、民間活力を導入することで、みどりを活用したスポーツ・レクリエーション空間や連続したみどりのネットワーク等を形成し、交流やにぎわいを創出。(緑の基本計画)

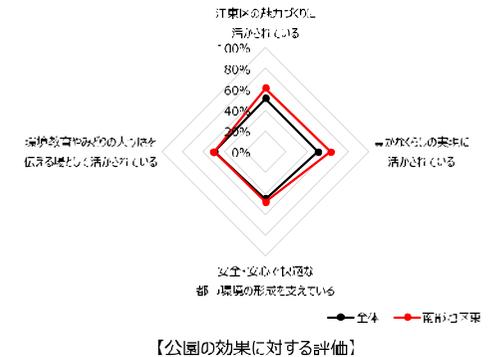
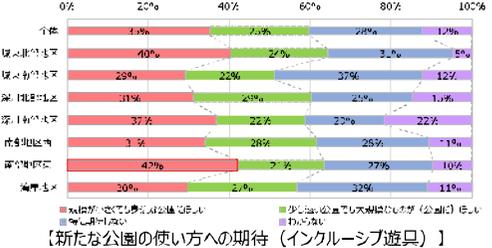
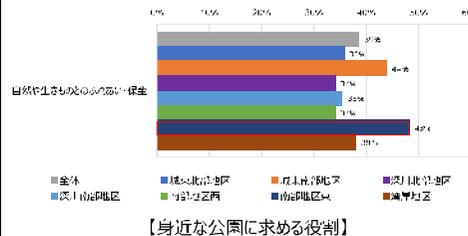
(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

- 期待する新たな公園の使い方について、身近な公園におけるインクルーシブ遊具整備への期待が、他地区と比較して高い傾向にある。

- 身近な区立公園に求める役割として、「自然や生きものとのふれあい・保全」を求める住民が、他地区と比較して多い傾向にある。

- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して全体的に同程度～高い傾向にあり、“江東区の魅力づくりに活かされている”、“豊かな暮らしの実現に活かされている”については、特に高い傾向にある。



◆利用実態調査

●潮見運動公園：

テニスコートは平日・休日問わず利用されていたが野球場は休日のみ利用され、賑わっていた。遊具・芝生には平日午後の小学生利用、休日は親子での利用が多くみられた。また、バスケットゴールのある広場は大人や小中学生がボール利用をしていた。夕方以降も利用していたが、照明がなく暗い中で利用していた。

(4) 特徴と課題

◆特徴

- 2つの海上公園が立地している一方、区立公園は小規模の公園が多い。一人当たりの公園面積は10.1㎡。
- 身近な公園にインクルーシブ遊具の整備を求める住民が他地区と比較して多い傾向にある。
- 地下鉄8号線の延伸(豊洲～住吉)計画が進められており、地下鉄8号線沿線まちづくりの検討が進められている。

◆課題

- 区立公園は小規模なものが多く、限られた面積での多機能化は難しいため、機能分担を図る必要がある。

(1) 地区の現況

◆公園の整備状況

		公園種別	公園数	面積 (㎡)
対象公園	住区基幹	地区公園	0	—
		近隣公園	0	—
		街区公園	5	3,793.07
		緑道	0	—
		児童遊園	1	271.18
		遊び場	0	—
	都市基幹	総合公園	1	93,405.09
	運動公園	0	—	
		合計	7	97,469.34
参照する公園機能	機能	都立公園	1	433,612.23
		海上公園	7	2,300,531.93
		国営公園	0	—
		合計	8	2,734,144.16

一人当たりの公園面積 (㎡)		
対象公園のみ	住区	3.04
	住区+都市	73.01
参照公園含む		2,121.06

※地区人口：1,335人 (住民基本台帳 R7.4.1)

【特徴的な公園】

- **バーベキュー場のある公園：**
 - ・ 夢の島公園 (都立)
 - ・ 暁ふ頭公園 (海上)
 - ・ 新木場公園 (海上)
- **キャンプ場のある公園：**
 - ・ 若洲公園 (現在は工事のため利用不可)
- **釣りができる公園：**
 - ・ 暁ふ頭公園 (海上)
 - ・ 夢の島緑道公園 (現在は工事のため利用不可)
 - ・ 若洲海浜公園 (海上)

【水辺の公園】

- ・ 若洲公園、夢の島公園、暁ふ頭公園、新木場公園、新木場緑道公園、夢の島緑道公園、若洲海浜公園、海の森公園

【地域イベント等に利用されている区立公園】※R5～7年の占用許可申請状況より

- ・ 若洲公園



◆公園の管理・運営状況

【公園ごとの意見・陳情数 (トップ5)】

R4 (15件)		R5 (18件)		R6 (10件)	
1	若洲公園	11	若洲公園	18	若洲公園
2	新砂一丁目児童遊園	4	/	1	新砂一丁目児童遊園
3	/	/		1	新木場
4				1	都立新木場緑道公園
5				1	東雲駅前公園

- ・ 地区全体の意見・陳情等は50件以下と、全体の中でも少ない。
- ・ 内容は公園施設に関する意見・陳情等が多い。
- ・ 公園別にみると、意見・陳情等が比較的多い若洲公園では、バーベキュー場などの公園の運営に関する意見が多い。

【民間活力の導入状況】

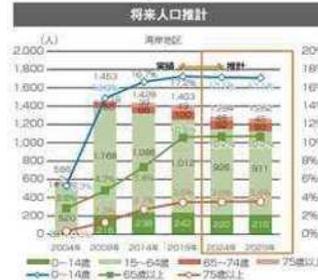
- ・ 若洲公園 (指定管理/Park-PFI)
- ・ 夢の島公園、新木場公園、新木場緑道公園、若洲海浜公園、海の森公園、夢の島緑道公園 (海上公園・指定管理)

NO.	公園名	NO.	公園名	NO.	公園名
1	若洲公園	6	新木場二丁目公園	11	新木場公園
2	東雲駅前公園	7	新砂一丁目児童遊園	12	新木場緑道公園
3	新木場一丁目緑地公園	8	夢の島公園	13	夢の島緑道公園
4	新木場一丁目第二公園	9	青海中央ふ頭公園	14	若洲海浜公園
5	新木場一丁目公園	10	暁ふ頭公園	15	海の森公園

(2) まちの現況

◆人口動向

- 世帯数は2005年から2015年で大きな増減はなく、人口は、2029年に約1,300人に減少すると推計されている。
- 高齢化率は10.6%。(2019年時点)



◆まちづくりに関する動向

●土地利用現況

工業系利用が増加しており、全体の約41.6を占めている。引き続き大規模な土地利用転換にあわせて都市機能の導入が必要とされている。

●まちづくりの方針

広域的な道路、鉄道の交通ネットワークなどに恵まれた立地条件、都心部への高いアクセス性の向上を踏まえ、今後、地域におけるまちづくりの発意や動きに応じて、基盤整備や新たな都市機能の誘導について関係者と連携し推進。(都市計画マスタープラン)

◆緑に関する動向

地区別テーマ：東京湾を望む壮大なみどりを活かし、スポーツ・レクリエーションによる交流とにぎわいのあるまち (緑の基本計画)

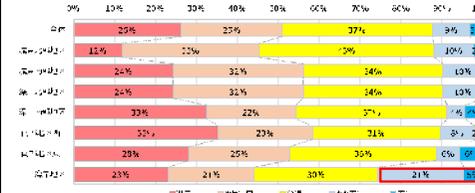
●地区の方針：

- 大規模な公園、水辺、東京 2020 大会会場等を有効活用するとともに、民間活力を導入することで、みどりを活用したスポーツ・レクリエーション空間、豊かな自然との触れ合いの場、連続したみどりのネットワーク等を形成し、交流やにぎわいの創出。(緑の基本計画)
- 土地利用の転換も進んでいることから、今後とも開発等のまちづくりと合わせ、地域の特徴を活かした新たなみどりを創出。(緑の基本計画)

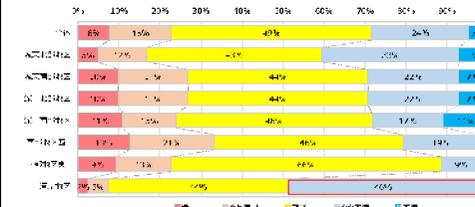
(3) 区民・利用者ニーズ

◆アンケート調査

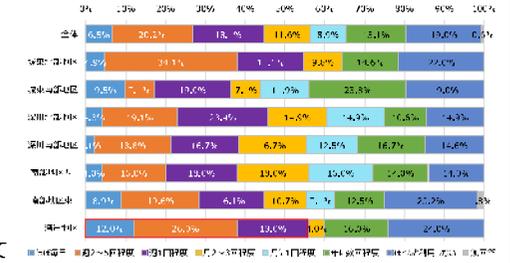
- 週に1回以上公園を利用している住民が56%と、他地区と比較して多い傾向にある。(全休44.8%)
- “緑などの自然環境の豊かさ”や“暑さ対策の充実度”、“遊具の充実度”について、他地区と比較して不満に思っている住民が多い傾向にある。
- 住民の公園の効果に対する評価は、区全体と比較して全体的に低い傾向にあり、“豊かなくらしの実現に活かされている”については、特に低い傾向にある。



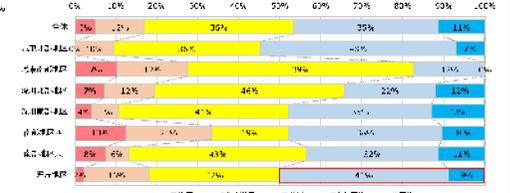
【緑などの自然環境の豊かさについての満足度】



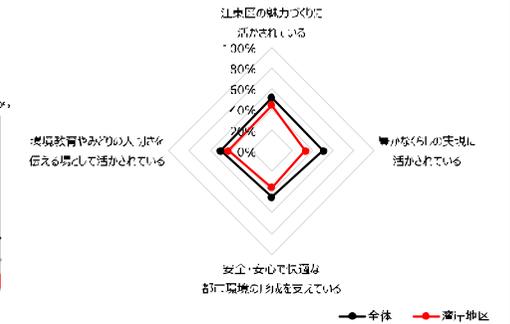
【遊具などの充実度についての満足度】



【公園の利用頻度】



【暑さ対策の充実度（緑陰や日除け施設など）についての満足度】



【公園の効果に対する評価】

(4) 特徴と課題

◆特徴

- 都立公園や海上公園が多く立地しており、区立公園も若洲公園（総合公園）など、大規模な公園が多く小規模な公園が少ない。一人当たりの公園面積は2121.1㎡と区内でも極めて大きい。
- 釣りやキャンプ、バーベキューなどレクリエーションを楽しめる公園が多い。
- 週に1回以上公園を利用している住民が、他地区と比較して多い傾向にある。
- 自然環境の豊かさや暑さ対策・遊具の充実度に不満があり、身近な公園に環境教育の場や乳幼児が安心して自然に触れられる場を求める住民が、他地区と比較して多い傾向にある。

◆課題

- 小規模な公園が少ないことから、機能の多機能化を図り、住民ニーズに応じていく必要がある。
- 地区の特性上、自然環境や暑さ対策などを図っていく必要がある。
- 区外からの利用者や外国人観光客の多い地区であることから、区の魅力を発信する場として活用していくことも求められる。

◆公園の概要

- 仙台堀川公園**（城東北部・城東南部・深川北部・深川南部）
 - 延長3.7km、面積10.4ha、都内最大の親水公園。公園のテーマは「区民の森」。
 - ふれあいの森、果実の森、科学の森、親子の森などの特色ある7つの森や、桜並木が続き、春の桜や新緑、夏から秋の果実や紅葉など、四季折々の自然が楽しめるほか、釣堀、池、川遊びの出来る親水施設、陶壁や彫像などの芸術作品もあり、豊かな自然と文化の香りが溶け合う公園。
- 堅川河川敷公園**（城東北部）
 - 延長2.4km、面積7.48ha、首都高速道路7号線の高架下にある公園。公園のテーマは「スポーツ公園」。
 - 有料施設のカヌー・カヤック場・フットサル場をはじめ、水上アスレチック・親子でキャッチボール広場・パターゴルフ場・グランドゴルフ場・健康遊具広場・噴水流れ（じゃぶじゃぶ池）など多彩なスポーツ施設が整備されているほか、日本庭園や水辺と身近に親しむ水路など散策や休憩も楽しめる公園。
- 横十間川親水公園**（城東北部・城東南部・深川北部・深川南部）
 - 延長1.9km、面積5.1haの公園。公園のテーマは「区民の水辺」。
 - 広い水面を活かした貸しボート場や水上アスレチック（令和9年4月末まで休場中）、野鳥の島、また花菖蒲園や田んぼのある「牛物の楽園」など、幅広い年代でめる公園。
- 福富川公園**（深川北部）
 - 延長0.5km、面積0.8haの公園。公園のテーマは「木場の香り」。
 - 様々な樹種の木々が茂る園内には、鯉や亀が泳ぐ池や、木製水門の模型などがあり、木に囲む施設が特徴的な静かな公園。
- 古石場川親水公園**（深川南部）
 - 延長0.8km、面積1.6haの公園。公園のテーマは「水辺の香り」。
 - 古石場の名称は、江戸城築城に際し「石置き場として使われた場所」から由来すると言われている。
 - 海水の流れる水路には、アサリも見られることがある。隣接する牡丹町の名に因む牡丹園や、東のはずれにある洋風なバラ園、梅雨に咲き誇るアジサイなど、季節の花が楽しめる公園。
- 木場親水公園**（深川南部）
 - 延長0.9km、面積1.9haの公園。公園のテーマは「木場の風景」。
 - 絵巻のモニュメントや、石積みの掘割、木製の太鼓橋、岸辺の燈籠、筏を操る川並の像、和船など、江戸の昔にタイムスリップしたような雰囲気、江戸情緒を感じさせる木場の面影を再現した公園。
- 荒川・砂町水辺公園**（城東南部・湾岸地区）
 - 江東区の東端、広大な荒川の河川敷を整備公園。
 - 園内には庭球場や陸上トラックが整備され、荒川の爽やかな風を感じながらスポーツを満喫することができる。
- 旧中川水辺公園**（城東北部）
 - 園内には川の駅やドッグランも整備されているほか、カヌーなどの水辺のスポーツも楽しむことができる。
 - 季節ごとに花が楽しみ、散歩や写真撮影が楽しめるほか、魚や水鳥が多く生息しており、都心に近いながらも豊かな自然が感じられる公園。

◆アンケート調査

- 主に利用する区立公園として、仙台堀川公園をあげる区民が多い。
- 水辺の公園でできると良いこととして、散歩や軽運動、水遊び、自然観察、飲食などをあげる区民が多い傾向にある。

◆利用実態調査

公園名	利用の特徴
仙台堀川公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 平日は通勤、通学、買い物などの通行者が多く、夕方は放課後の子どもが遊んでいる広場もあるが、終日利用者のいない遊具のある場もある。 ● 休日には自然観察や遊びの親子が多く、広場でボール遊びや自転車練習する子どもも多い。 ● 自転車も多く、歩行者との錯綜やや危険を感じる区間もある。 ● 清洲橋通り以北は新たに整備され、歩行者と自転車の分離がなされている。
堅川河川敷公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 平日に主ににぎわっていたのは、西側のキャッチボール広場や多目的広場、フットサル場付近の遊具広場であり、学校・保育園の集団利用と、放課後の小学生の遊びでの利用がメインとなっていた。 ● 時間を問わず、歩行者、自転車の通過利用がある。 ● 休日は、遊具広場に特ににぎわっていた。そのほか、健康遊具広場は高齢者、フットサル場は社会人による利用が複数みられた。
横十間川親水公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体的に入通りはまばら。 ● 菖蒲園周辺は、通勤・通学、買い物などの通行者が多く、散歩や休憩利用もみられた。休日には野鳥観察の利用者がいる。 ● 水鳥の島の周辺は、通学や通勤者が多く、滞在利用は少ない。 ● 朝夕の通学利用の自転車が多く、速度を出しすぎて歩行者との錯綜が懸念され、実際にヒアリングでは苦情も聞かれた。
福富川公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 通行や犬の散歩などでの利用が多く、公園内に滞在している人は平日・休日問わず少ない。 ● 利用者層（通行・散歩含む）は幅広く、隣接する深川北スポーツセンター利用の通行も多くみられた。 ● 「木場の香り」がテーマの公園であり、所々にテーマを彷彿とさせる施設・設備があったが、利用者の認識はあまりいように見受けられた。 ● 鳥が多く生息しており、複数種の野鳥を確認した。
古石場川親水公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 平日は通過利用がほとんどであるが、休日は牡丹町公園がかなり混雑し、その影響で古石場公園側まで出てきて遊んでいる。 ● 石の広場付近のグラウンドはこどもたちの遊びに利用されている。
荒川・砂町水辺公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的にはサイクリングやウォーキング、犬の散歩や釣りの利用が多く、滞留よりも通過・運動目的での利用されている。 ● テニスコートは休日ほどの時間も埋まっているが、夜は照明がなく18時ごろまでの利用時間となっている。
木場親水公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 平日休日問わず基本的には犬の散歩やウォーキングなどの通過利用が多い。 ● 駐輪場が近いが、駐輪場を利用してそのまま木場親水公園を利用する人は多くない。
旧中川水辺公園	<ul style="list-style-type: none"> ● 川の駅付近は平日は昼頃がにぎわい、休日はイベントをやっていたこともあり一日を通してにぎわっていた。 ● カヌーの利用者も多く、特に休日は部活の練習と見受けられる中学生らがカヌーの練習を行っていた。 ● ドッグランは平日休日ともににぎわっている。 ● 公園を通して、川の駅付近が最もにぎわっており、北部はまばらに人がいた。

◆特徴

- 親水公園には、それぞれの公園にテーマが設定されている。（荒川・砂町水辺公園、旧中川公園を除く）
- 野鳥が数多く生息しており、生物多様性の視点からも重要な役割を担っている公園が多い。
- 水遊びやスポーツなど、区民のレクリエーションの場としての役割を果たしている公園が多い。
- 散歩やペットの散歩、通行など、日常生活の中で多くの区民に利用されている。
- 水辺の公園でできると良いこととして、散歩や軽運動、水遊び、自然観察、飲食などをあげる区民が多い傾向にある。

◆課題

- 公園のテーマを踏まえながら、区の特徴・魅力として、更なる個性の発揮や、発信を行っていく必要がある。
- 通行での利用がほとんどの公園については、公園に滞在してもらう工夫をはかる必要がある。
- 地区をまたがる特徴を活かし、多様な住民や団体との連携による整備や管理運営、活用を測っていく必要がある。